



平成30年7月31日

栗東市議会議長
上田 忠博 様

要望書第 26号

持参

要望者

児童館の再開を求める利用者の会

代表 林 幸恵 (印)

連絡先：090-9571-0828

児童館の再開に関する要望書

要望の要旨

私たちは、

- 1、早急な大宝・葉山東児童館の再開を含む全学区平等な児童館開館日の調整
- 2、児童館運営に関する指示命令系統の明確適正化
- 3、児童館職員の配置適正化を含む運営の抜本的な見直し

以上について要望いたします。

要望の理由

私たちは児童館を利用していた保護者の集まりです。このたび、私たちが要望書を市議会に対し提出するに至った理由は、どうしても私たちの意見を市議会の皆さんに聞いていただきたいと思ったからです。

市内に設置されている9館の児童館のうち、今年度ははじめから大宝児童館・葉山東児童館の2館が休館となっています。

今回の大宝児童館休館について利用者が知らされたのは前年度末の3月26日でした。

市からはそのことについて、「ギリギリまで人材の募集をかけていたので報告するのが遅くなった。」との説明は受けましたが、なぜ事前に『現在まで応募がないため人員不足が生じる可能性がある。』などの情報提供がなかったのか疑問に思います。

あまりに急な休館だったため、春休みのあいだに帰省していた利用者が新学期に利用しようとして初めて休館を知ることになり、利用者同士のつながりがいない方は孤立してしまっている人もいます。

子どもたちも大好きな先生方に急に会えなくなってしまう、不安になって涙する子どももいました。

私たちには休館に至った経緯すらまともに説明を受けておらず、子どもたちを納得させる言葉をかけることが未だにできていません。

後日、児童館を休館させる理由を市からは「葉山中学校区と栗東西中学校区のそれぞれから一つずつ選んだ。そして大宝児童館は大宝東児童館と大宝西児童館の中間にあるので休館させた。」と伺いましたが、小学生は保護者の同伴なしに学区外へ出かけてはならない決まりとなっています。そのため、現在は大宝小学校の児童たちは放課後や夏休み中の遊び場がなくなってしまう、保護者も子どもたちも困っていますし、暑い日が続く中、公園などでは日差しを逃れるところも少なく危険であり、たいへん不安に感じています。

また、児童館は子どもたちの遊び場としてだけでなく、私たち保護者が先生方や利用者同士で交流できる貴重な場になっています。子育てに不安になったり、孤立しそうな時、児童館の先生方に支えていただいたお母さんは何人もいました。そのような先生方の待遇も決して良いものではないと聞いていますので改善していただき、長く続けていただけるようにしていただきたいと思います。

私たちは児童館の再開に向けて短い期間ではありましたが、3000名の署名を集めて、4月26日に市長をはじめ行政の方をお願いに行きましたが、状況は一向に改善される気配がありません。これまでに私たちが平等な開館日のためのやりくりを提案しても「休館している館を開けるために他の館への移動をお願いしても現場の先生ができないと言っている。」など、指示命令するのはどちらなのかわからなくなる回答しかありませんでした。

市議会議員のみなさん、もう私たち利用者の活動だけでは限界があり、再開がいつの日になるかわかりません。学区ごとに児童館が解放されていることは子育て世代にとって栗東市の大きな魅力の一つになっています。どうか1日1日成長する子どもたちのために迅速な対応とお力添えをお願いいたします。